

学校だより

2月号



やさしい子 たくましい子 考える子

黒門

発行日 令和7年1月31日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 飯塚 雅之

学校評価、学校公開アンケートを生かし、教育活動の改善・充実を図る

副校長 岩崎 公慈

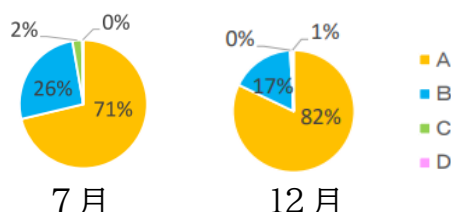
本校では年間6回の学校公開・行事と1,2学期末の学校評価で保護者の皆様にアンケートを実施しています。それぞれの行事に向けた取組や当日の様子、日々の教育活動に対して忌憚のないご意見をいただくことで、教育活動の改善・充実を図っていくことに繋がっています。実施時期が重なるものもあり、負担を感じているとのご意見もいただきました。方法や回数については検討してまいります。

12月に実施した学校評価アンケートの結果をまとめ、本校ホームページで公開しました。

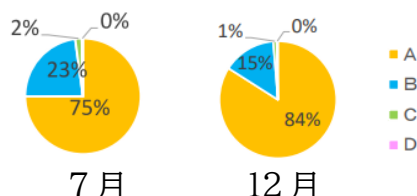
<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310219> に掲載していますので、ぜひご覧ください。(2月下旬からアドレスが <https://www.taito.ed.jp/1310219> に変更されます)

アンケートは「A…あてはまる、B…ややあてはまる、C…あまりあてはまらない、D…あてはまらない」の4択で実施しています。保護者の方からは、ABの肯定的な評価をいただくことが多いのですが、今年度の特徴として、7月と12月を比較するとAを選択した方がどの項目でも増加している傾向が見られました。率直に大変嬉しいことだと感じております。この点については様々な理由が考えられますが、学校の取組、日々の教育活動についての理解が得られてきた成果ではないかと考えています。

8. (学校)地域を生かした本物にふれる教育学習を積極的に取り入れている。



12. (学校)授業参観や学校だより、ホームページなどで、教育活動の様子を分かりやすく伝える努力をしている。



反対に、例年、児童は7月から12月でA回答が減る傾向があります。回答した児童の様子を見ると、自分に厳しく評価している傾向があります。こちらは児童の成長の表れと捉えています。

いずれも、C・D回答をしている児童、保護者の考えをよく聴き、理解を求めたり、改善を図ったりしていくことが大切で、真摯に進めていきたいと考えています。

12月号でも取り上げた通り、児童自身の声を大切に受け止め、学校生活をよりよいもの、より有意義なものにしていく必要があります。児童が意見を表明できること、自分たちの学校生活に関わる約束を決めることに参画していくことが大切です。

「黒門の約束10」「黒門のよい子」「黒門のよい子の服装」「タブレット端末活用のルール」などのきまりや、立ち番やあいさつ運動、特別活動をはじめとする行事の内容や方法など、児童自身の声を引き出し、「自分たちで考え、自分たちで変える」「自分たちで決めたことをしっかりと守り、より主体的に行動できるようにする」そのような姿を目指してまいります。



育ての会が感謝状をいただきました

この度、本校育ての会が交通安全・交通事故防止の活動に対し、警視総監から感謝状をいただきました。西尾会長はじめ交通保護部を中心とした日々の取組に改めて感謝と敬意を表します。ありがとうございます。おめでとうございます。